

重要取組シート

取組項目	児童虐待の防止																								
<p>現状・課題</p>	<p>【経過・現状】</p> <p>○児童虐待相談対応件数は、依然として高い水準で推移している。</p> <p>＜児童虐待相談対応件数の推移＞ (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="419 488 1465 705"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども相談所</td> <td>2,339</td> <td>2,209</td> <td>2,395</td> <td>2,060</td> <td>2,473</td> </tr> <tr> <td>区子育て支援課</td> <td>986</td> <td>1,064</td> <td>935</td> <td>1,646</td> <td>1,484</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,325</td> <td>3,273</td> <td>3,330</td> <td>3,706</td> <td>3,957</td> </tr> </tbody> </table> <p>※区子育て支援課の R5 増加は、システム更新による集計方法の変更があったため (同じこどもについて通告が複数回あった場合、通告毎に件数を計上)</p> <p>【課題】</p> <p>○増加する児童虐待事案に対応するための児童福祉法に基づく配置基準や児童相談所運営指針に沿った人材の確保と育成</p> <p>○一時保護所における居心地の良い環境の整備及び入所児童数増加に対応するための入所定員の増員</p> <p>○虐待の早期発見に向けた通告の徹底に関する周知や虐待の根絶に向けた啓発</p> <p>○虐待の未然防止から、発見、支援に至るまで各関係機関の切れめのない連携推進</p>	年度	R2	R3	R4	R5	R6	こども相談所	2,339	2,209	2,395	2,060	2,473	区子育て支援課	986	1,064	935	1,646	1,484	計	3,325	3,273	3,330	3,706	3,957
年度	R2	R3	R4	R5	R6																				
こども相談所	2,339	2,209	2,395	2,060	2,473																				
区子育て支援課	986	1,064	935	1,646	1,484																				
計	3,325	3,273	3,330	3,706	3,957																				
<p>取組の内容</p>	<p>○児童福祉司及び児童心理司の確保を含むこども相談所の体制強化と、これに伴う人材育成を図る。</p> <p>○一時保護所の環境改善工事並びに一時保護所サテライトの環境改善及び入所定員6名分の居室を確保するための設計業務を実施。</p> <p>○児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応にオール大阪で取り組むことにより、重大な児童虐待「ゼロ」の実現をめざすため、大阪児童虐待防止推進会議において決定した次の取組を実施する。</p> <p>①オール大阪での啓発活動：こども虐待防止推進月間である 11 月を中心に幅広く周知するための啓発を行う。</p> <p>②精神科医療機関との連携：精神的に不安定な保護者に適切な支援を行うため、精神科医療機関と連携し虐待の未然防止に繋げる。</p> <p>③警察との定期的な合同研修：警察・児童相談所・各区子育て支援課が互いの業務内容や役割を学び相互理解を深め、今後の児童虐待対応に活かす。</p> <p>④SNS を活用した児童虐待防止相談事業：子育てに悩みを抱える親やこども本人など、SNS により気軽に相談してもらい児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応を図る。</p> <p>⑤リスク事案における 24 時間以内の安全確認：「最重度最優先ルール」を設け、「最重度事案の 24 時間以内の安全確認」をめざす。</p> <p>⑥警察との虐待通告の情報全件共有：こども相談所が受理した通告を全件共有。</p>																								

(様式 4)

		⑦児童虐待事案の情報を大阪府警察とリアルタイムで共有する新たなシステムを大阪府等と 合同で構築し、より一層の「児童虐待の見逃し防止」と「支援の充実」を図る環境を整え る。	
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> 各区で、関係機関間で情報交換、進行管理、支援方針の見直しを行う「こども虐待ケー ス連絡会」、「要支援ケース連絡会」(特定妊婦含む)を3～4か月ごとに1回、「要支 援ケース連絡会Ⅱ」を年に2回開催(通年) <input type="checkbox"/> 家庭引取り継続ケースにおいて、こども相談所で定期的な情報共有を行い、リスク判断 を実施(通年) <input type="checkbox"/> 一時保護所の環境改善工事完了(7月) <input type="checkbox"/> 堺市要保護児童対策地域協議会の「区代表者会議」を開催(8～9月) <input type="checkbox"/> 大阪府等の合同で構築する新たな共有システムの要件定義(～9月)	
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> こども虐待防止推進月間を中心にオレンジリボンキャンペーンを実施(11月) <input type="checkbox"/> 堺市要保護児童対策地域協議会の「代表者会議」を開催(11月) <input type="checkbox"/> 堺市要保護児童対策地域協議会関係機関研修会を開催(11月) <input type="checkbox"/> 一時保護所サテライトの環境改善及び居室を確保するための設計業務完了(12月) <input type="checkbox"/> 新たな共有システムと連携できるよう、こども相談情報システムを改修(～2月)	
	次年度 以降		
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	3-(5) 厳しい環境にあるこどもと家庭への支援の充実	
	寄与する KPI	—	目標値(2030年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 16	平和と公正をすべての人に
	寄与する KPI	—	目標値(2030年度) —